

都市計画道路登戸2号線沿道 道路空間利活用体験会 結果概要

都市計画道路登戸2号線沿道では、道路空間の使い方として、歩道の一部を憩いや交流の場として活用し、通りとしての一体的な賑わいを創るため、沿道権利者とともに勉強会を開催し、検討を重ねています。登戸2号線道路空間利活用体験会の開催結果について、ご紹介いたします。

1. 登戸2号線道路空間利活用体験会の概要

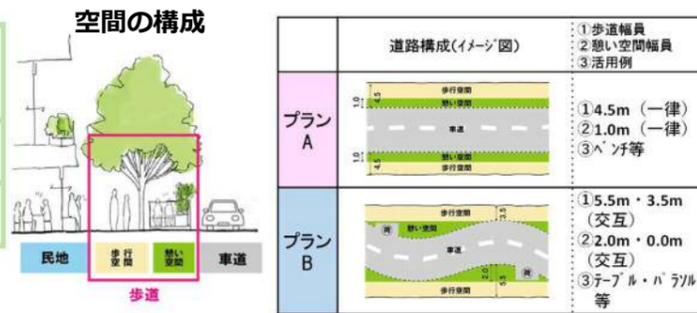
(1) 体験会の目的

- ① 通りとしての一体的な賑わいを創るために、歩道の一部を憩いや交流の場として活用し、実際に空間を利用してもらい、魅力を感じていただく。
- ② どのような道路構成・どのような使い方であれば魅力的なまちになるのか、地域住民や来街者の皆様に意見を伺う。

(2) 体験会の実施概要

体験会では、プランA(4.5m・4.5m)とプランB(5.5m・3.5m)の2つの道路空間を再現しました。

実施期間	2021年9/22(水)～9/26(日) の5日間 10:00-16:00
実施場所	都市計画道路登戸2号線の一部
来場者数	5日間で延べ約2,600名



(3) 体験会のレイアウト図



プランA (4.5m・4.5m)

- 空間①: 本棚、木箱、
- 空間②: テーブルチェア(2人掛け)
- 空間③: ハンモック、木箱

プランB (5.5m・3.5m)

- 空間④: 本棚、木箱
- 空間⑤: テーブルチェア(4人掛け)
パラソル、ハンモック、木箱

※本棚には、リサイクルブック(図書館リユース本)を設置し、すべての空間にお絵描きスペースを設置しました。

2. 登戸2号線道路空間利活用体験会の様子

プランA・Bの2パターンの道路空間を再現した当日の様子をご紹介します。

【プランA】4.5m・4.5m (空間①・空間②・空間③)

- 均等の幅員で街並みに統一感が出ます。
- ちょっとしたベンチなどの立ち寄りスペースを設けることで、気軽に休憩や待合せに利用できます。
- 憩い空間は通りの両側に均等に創ることができます。



人それぞれ、様々な使い方がされていました!



通りすがりに多くの方が利用してくれました!



【プランB】5.5m・3.5m (空間④・空間⑤)

- 憩い空間を片側に広く創ることによって、特徴的な街並みの形成に繋がります。
- 広い憩い空間を使って、飲食スペースなどのにぎわい空間を創ることができます。
- 荷捌きスペースを設けることができます。



アイデアボードにみんなでお絵描き!



たくさんの方にご来場いただきまちがにぎわいました!



3. 登戸2号線道路空間利活用体験会の実施成果

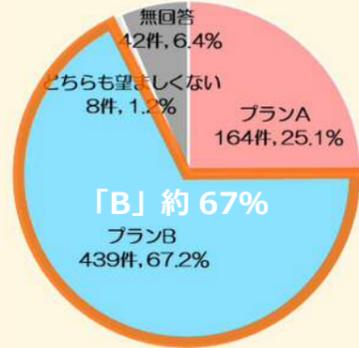
登戸2号線道路空間利活用体験会において、当日の利用者に対し、今後のまちづくりの意向を伺う「アンケート調査」と、利用の実態を把握する「利用者行動調査」を実施しました。

■ アンケート調査（定性調査）

調査方法	現地でのアンケート調査票への記入及びWEBでの回答
調査内容	プラン別（A・B）の評価や道路空間に設置して良かったもの 等
回収数	653件

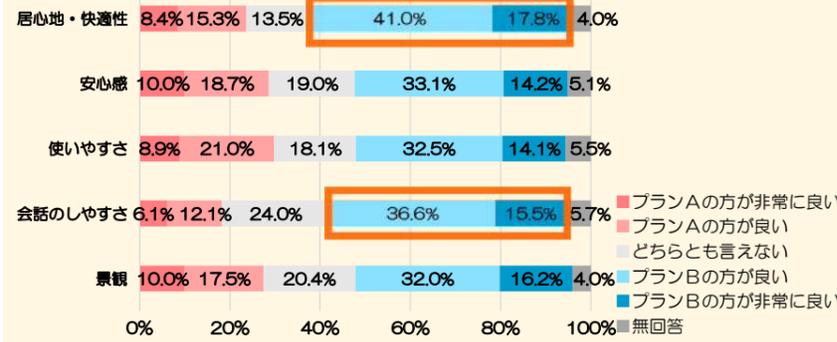
① プランA・Bのどちらの方が望ましいと思いますか？

プランBの評価が高い



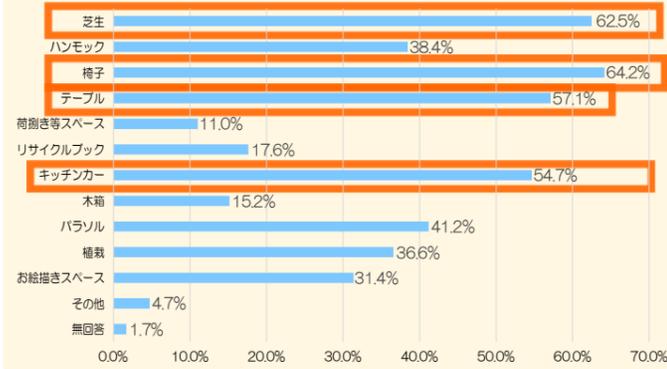
② 各項目ごとに、プランA・Bを評価してください。

居心地・快適性や会話のしやすさで特にプランBの評価が高い



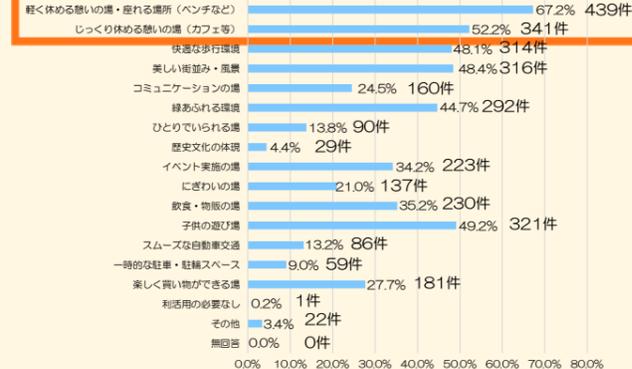
③ 道路空間の設置物で、良かったものを教えてください。

芝生、椅子、テーブルやキッチンカーの評価が高い



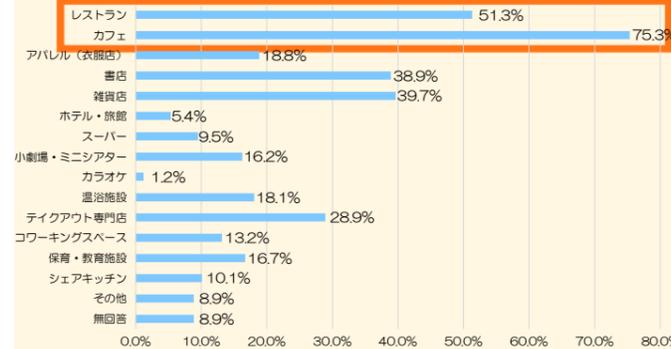
④ 2号線がどのような空間になると良いですか？

休憩や長時間滞在できるような空間が求められている



⑤ 2号線にどのようなお店ができると良いですか？

レストランやカフェといった飲食店が求められている



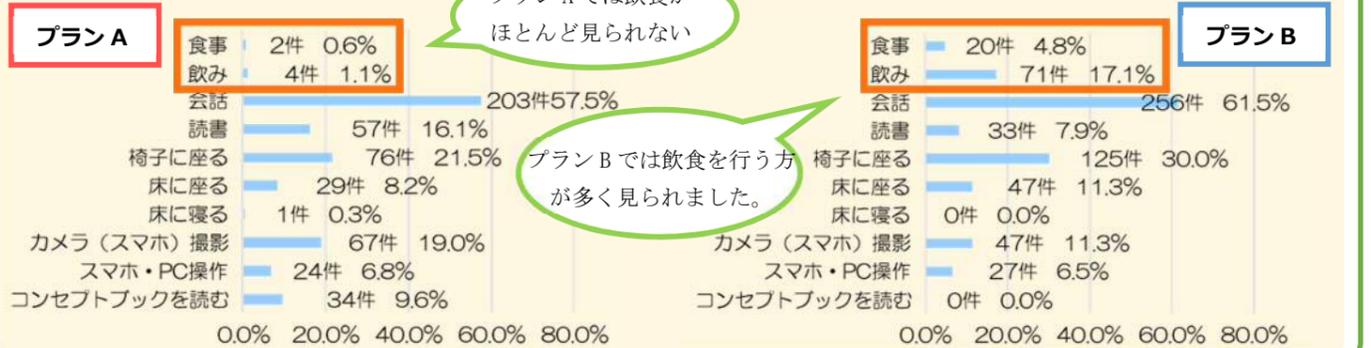
■ 利用者行動調査（定量調査）

調査方法	調査員による目視及び計測
調査内容	プラン別の利用者数、滞在時間、行動 等

① 滞在時間



② プラン別の行動



■ 登戸2号線道路空間利活用体験会で得られた成果

【アンケート調査より】

- 道路沿道の使い方として、ちょっとした休憩ができる空間（ベンチ等）や、ゆっくりくつろげる空間（カフェ等）が求められています。
- 利用者の意向として、プランAより、プランBの評価が高くなっています。

【利用者行動調査より】

- プランAに比べ、プランBの方がより長時間滞在していることがわかりました。
- プランBでは、プランAでほとんど見られなかった飲食行動など、多様な過ごし方がされていました。

プランBがより通りのコンセプト『多彩な人々を引き寄せ、人々が楽しみ、憩う通り』に即していることがわかりました。

体験会の成果を踏まえ、今後はプランBをベースとして、実現に向けた検討を進めていきます。

■ 今後の課題

【安全性の確保】

- アンケート調査では、プランに関わらず、子供の飛び出しを心配する声が寄せられたため、安全対策の検討を進めます。

【維持・管理方策の検討】

- 今回演出したような憩い空間を実現するために、椅子・テーブルのファニチャー類等の維持・管理方策の検討を進めます。

登戸2号線道路空間利活用体験会にご参加・ご協力いただき、ありがとうございました。今後もよりよいまちづくりに向けて検討を進めていきます。